

各位

株式会社トップカルチャー
 代表取締役社長 清水秀雄
 (コード 7640 東証1部)

トップカルチャー 2011年10月期 通期連結業績

営業利益・経常利益・当期純利益ともに増益!!

売上高	33,402 百万円	(前年同期比 98.6%)
営業利益	1,088 百万円	(前年同期比 115.9%)
経常利益	1,012 百万円	(前年同期比 103.7%)
当期純利益	457 百万円	(前年同期比 100.5%)

当連結会計年度は、蔦屋書店部門において既存店1店舗減少により売上高前年同期比は全店で98.7%、既存店では99.2%とほぼ前年並みとなりました。販売用CD・DVDおよびゲームのタイトルパワーのある新譜、新作が少なかったことにより減収となりましたが、主力商品の書籍・レンタル・文具は好調で前年比増となりました。8月にオープンしました前橋みなみモール店は来期以降の増収に寄与する見込みであります。

利益面では、粗利率の高いレンタル売上が増加したことおよび継続して原価率の改善や運営の効率化に取り組んだことが奏功し、経常利益は前年同期比103.7%の1,012百万円となりました。

なお、資産除去債務に関する会計基準適用に伴い特別損失158百万円を計上したことおよび店舗の統合閉店2店を行ったことに伴い特別損失6百万円を計上したこと(期初計画織込済)並びに投資有価証券売却に伴い特別利益28百万円を計上した結果、当期純利益は前年同期比100.5%の457百万円となりました。

● 主力部門：書籍・レンタル・文具が好調！

主力商品のうち、書籍が売上高前年同期比101.5%(既存店101.3%)、レンタルが売上高前年同期比100.1%(既存店101.7%)、文具が売上高前年同期比103.2%(既存店101.9%)といずれも売上を伸ばし、増益に寄与いたしました。特に、書籍は売上上位商品の充足率強化により売上の底上げを図ったこと、文具は定番商品の売上が好調であったほか、趣味文具や生活雑貨等のライフスタイルを提案する品揃えを拡充したことが奏功し、既存店実績でも前年を上回る好調な推移となりました。

● 2011年8月、日本最大の超大型店「蔦屋書店前橋みなみモール店」をオープン！

全国で約1400店展開している蔦屋書店/TSUTAYAの中で日本最大の売場面積を有する「蔦屋書店 前橋みなみモール店」(群馬県前橋市・1800坪)をオープンしました。900坪の広大な書籍売場と画材等の趣味文具の品揃えを強化した330坪の文具売場が特長のライフスタイル提案を重視したお客様にとって楽しさと発見のある店づくりとなっております。



当社は今後、この「蔦屋書店 前橋みなみモール店」を皮切りに、超大型複合店の出店を拡大してまいります。

● 2012年10月期 通期連結業績予想（2011年11月1日～2012年10月31日）

2012年10月期は、超大型複合店舗2店の出店を予定しております。8月にオープンしました前橋みなみモール店も寄与し大幅な増収を見込んでおります。また引き続き店舗価値の向上に取り組み、原価率の改善とコスト効率の見直しにより、大幅な収益体質の改善を図ってまいります。

このことから、下記のとおり予想しております。

売上高	36,100 百万円	（前年同期比 108.1%）
営業利益	1,300 百万円	（前年同期比 119.4%）
経常利益	1,250 百万円	（前年同期比 123.4%）
当期純利益	620 百万円	（前年同期比 135.6%）

1. 連結業績の概要

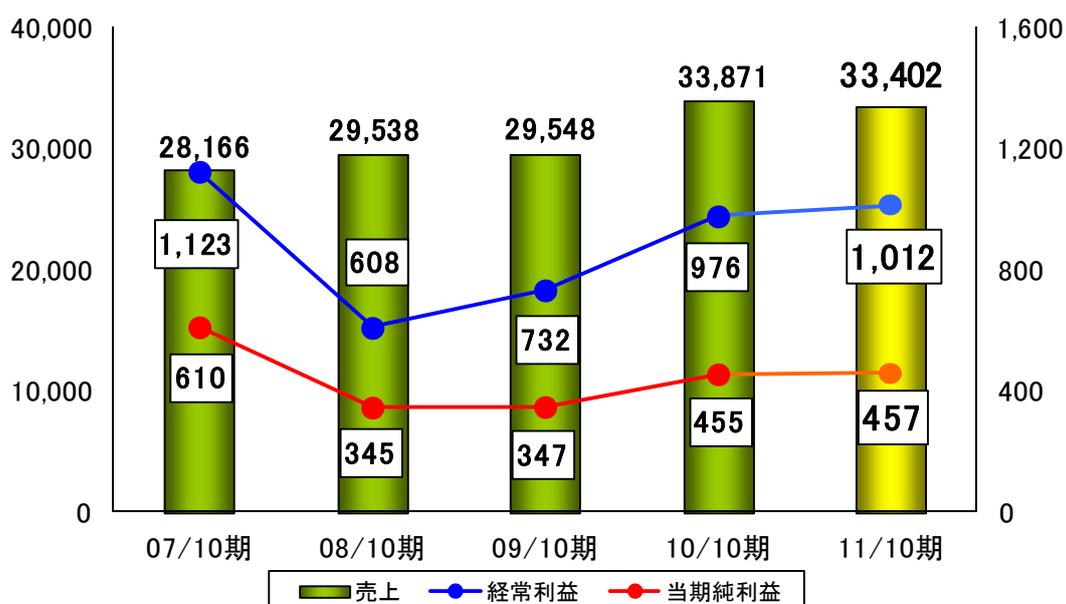
【連結サマリー】

(百万円)

	2010年10月期		2011年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	33,871	100.0	33,402	100.0	98.6
売上総利益	10,952	32.3	10,804	32.3	98.6
営業利益	939	2.8	1,088	3.3	115.9
経常利益	976	2.9	1,012	3.0	103.7
当期純利益	455	1.3	457	1.4	100.5
EPS(円)	37.95		38.12		100.4

売上高(百万円)

経常利益
当期純利益(百万円)



【蔦屋書店部門サマリー】

(百万円)

	2010年10月期		2011年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	32,844	100.0	32,404	100.0	98.7
売上総利益	10,627	32.4	10,467	32.3	98.5
営業利益	887	2.7	1,006	3.1	113.4
経常利益	1,007	3.1	1,026	3.2	101.9
当期純利益	584	1.8	480	1.5	82.1
EPS(円)	48.75		40.01		82.1

2. 商品別売上高の状況

- ・ 書籍は売上上位商品の充足率強化により、売上の底上げを図りました。
- ・ 文具は定番商品が好調だったほか、ライフスタイルを提案する品揃えの拡充が奏功いたしました。
- ・ レンタルは定番・ロングセラー商品の品揃えの拡充を図ったことにより堅調に推移いたしました。
- ・ 販売用 CD・DVD は不稼動在庫の圧縮および提案性の高い売場作りに注力いたしました。

(百万円)		10年10月期	11年10月期			既存店
		金額	金額	増減額	前年比	前年比
蔦屋書店部門	書籍	13,889	14,091	201	101.5	101.3
	レンタル	7,775	7,781	6	100.1	101.7
	販売用CD	3,196	2,915	△281	91.2	92.4
	文具	2,396	2,474	77	103.2	101.9
	販売用DVD	1,945	1,830	△114	94.1	95.2
	その他	3,638	3,311	△328	91.0	
	小計	32,844	32,404	△439	98.7	99.2
トップブックス部門計		848	802	△46	94.5	
グランセナ部門計		178	195	17	109.6	
合計[連結]		33,871	33,402	△468	98.6	

3. 出店・改装の状況

- ・ 2011年8月26日に1800坪の超大型複合店「蔦屋書店前橋みなみモール店」を出店しました。
- ・ 既存店3店の改装を行い、BOOK&CAFE スタイルの業態に変更いたしました。
- ・ 統合閉店2店(「TSUTAYA 深谷店」、「古本市場トップブックス佐和田店」)を実施いたしました。

2011年10月末現在

グループ店舗数 74 店舗 延床面積合計 35,661 坪

(1店当たり 平均 482坪)

【2011年10月期 出店・改装状況】

	店名	場所	開店日/閉店日
統合閉店	TSUTAYA 深谷店 ⇒蔦屋書店 熊谷店へ統合	埼玉県	2011/03/06
改装 BOOK&CAFE スタイルに変更	蔦屋書店 長野川中島店	長野県	2011/04/29
	蔦屋書店 新通店	新潟県	2011/04/29
	蔦屋書店 府中クレッセ店	東京都	2011/05/02
統合閉店	古本市場トップブックス 佐和田店 ⇒蔦屋書店 佐渡佐和田店へ統合	新潟県	2011/06/26
新規出店	蔦屋書店 前橋みなみモール店	群馬県	2011/08/26

4. 2012年10月期の業績予想

- ・ 出店につきましては、関東地区において大型複合店舗の新設出店2店を予定しております。
- ・ 引き続き、原価率の改善及びコスト効率の改善に取り組み、大幅な収益体質の改善を図ってまいります。

【連結】

(百万円)

	11年10月期		12年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	33,402	100.0	36,100	100.0	108.1
経常利益	1,012	3.0	1,250	3.5	123.4
当期純利益	457	1.4	620	1.7	135.6
EPS(円)	38.12		51.67		135.5

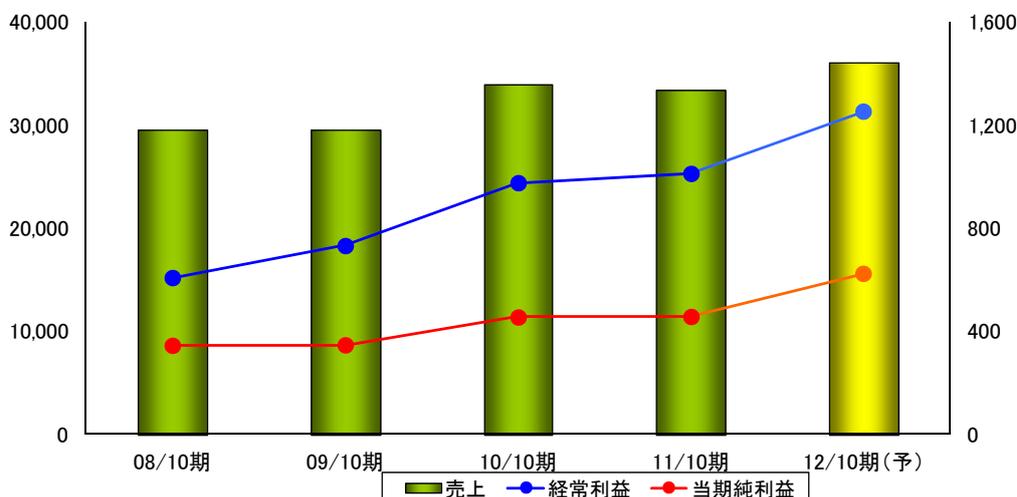
【蔦屋書店部門】

(百万円)

	11年10月期		12年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	32,404	100.0	35,200	100.0	108.6
経常利益	1,026	3.2	1,200	3.4	116.9
当期純利益	480	1.5	583	1.7	121.4
EPS(円)	40.01		48.58		121.4

売上高(百万円)

経常利益
当期純利益(百万円)



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

蔦屋書店

【本資料に関するお問い合わせ先】

株式会社トップカルチャー 取締役管理部長 遠海 武則

TEL: 025(232)0008 / FAX: 025(265)1260

<http://www.topculture.co.jp>